

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	・本施設が6年目に入るので、もう一度グループホームケアの原点に立ち返って、利用者本位のケアとは？利用者一人ひとりの思いやどう暮らしたいか等の希望をそれぞれの職員が把握して動いているか？慣れが出てきて、勝手に自分達サイドの都合でケアの方針を決めていないか？を考える。(例:「外に行く」とつぶやいた時やみくもに止めていないか？何かしたいと思われた時に「いいよいよ危ないから」と簡単に伝えてないか？等)	1.「外に出たい」という意志表示があった時に、他の職員の許可を得て、また事務所の職員に後を頼んで、一緒に出掛けられる体制を叱咤の判断で行える様に全職員がなる。 2.常に、目の前の人が何をしたいか？を考えられるケアワーカーを目指す。	職員が指示待ちにならず、自分で考えて、利用者にとって何が最善かを考えて行動する訓練をする。(事例をあげて、皆で対応を考え意見を出す。)	6ヶ月
2	6	・昨年拘束ベルトを外すと目標を掲げた2名の内1名は車椅子を替えてみたら、良好で拘束ベルトを外せたが、もう1名は今だ外せていないので、再度目標として掲げてみた。 重度の認知症で、会話もままならず、指示も入らない状態なので、家族とも話し合い了解を得て、そのまま継続中。	・車椅子の拘束ベルトをはずす。	・経済的にもまた活動性からも車椅子の変更は検討に入っておらず、車椅子上はまだだけれども、いい代替え案を常に探していく為に3ヶ月毎に見直していく。	6ヶ月
3	2	・昨年に続き、地域の中の一員として、お役に立つ施設になっていかなければならない。 いきいきサロンも定期的に通っているが、もっと気軽に地域の人も訪ねてくれるグループホームを目指していきたい。	・地域の人も気軽に訪ねてくれるようなグループホームになりたい。	・いきいきサロンへの参加は続けていき、尚且つ今年から看護師が同行し、地域の高齢者の健康相談の場作りの提供を始めた。 ・他に地域の行事に出ていける様な環境作りをしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。